３年学年だより

令和7年6月 11 日（水）
No.4
吹田市立千里丘中学校
第３学年

修学旅行 1日目 平和学習

平和の礎にて…

修学旅行1日目には，平和祈念公園に行きましたね。そこには，『平和の礎』がありました。『平和の礎』の前で平和のセレモニーを行ったクラスと，資料館内で行ったクラスがありましたが，たくさんの石碑が並んでいるのが見えたと思います。この石碑には，世界の恒久平和を願い，国籍や軍人，民間人の区別なく，沖縄戦などで亡くなられたすべての人々の名前が刻まれています。

以下に，平和のセレモニーで千里丘中学校の代表者が読んでくれた作文を掲載しますね。

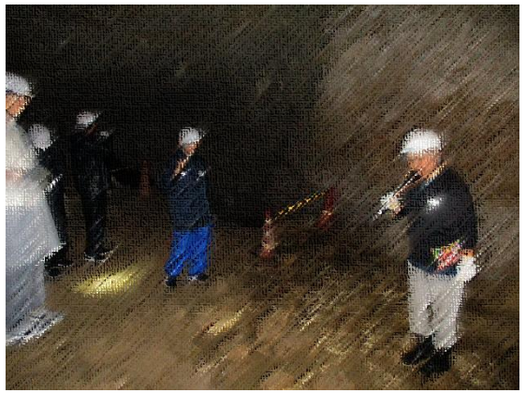
【前半クラス】

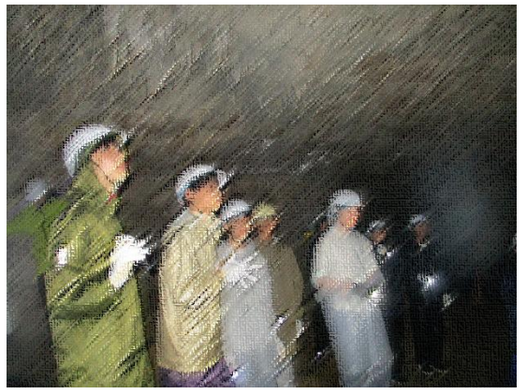
「皆さんは，戦争と聞いて何を思い浮かべますか。小学校の修学旅行で訪れた広島の原子爆弾や，ロシア・ウクライナ戦争を思い浮かべる人が多いのではないでしょうか。また，戦争は自分には関係のない話だと考えてはいませんか。1945年3月26日，多くの犠牲者を出した沖縄戦が始まりました。この戦いは約3ヶ月続きました。そして2025年。80年の年月を経ても戦争のない平和が続いています。この平和がつづいていることは、決して当たり前ではありません。戦後『戦争をもう2度と起こさない』という強い決意が多くの人たちの心の中にあるからです。今回私たちが沖縄の修学旅行で学んだことに向き合い理解し，受け継いでいくことが平和を守り続けていくことになると思います。」

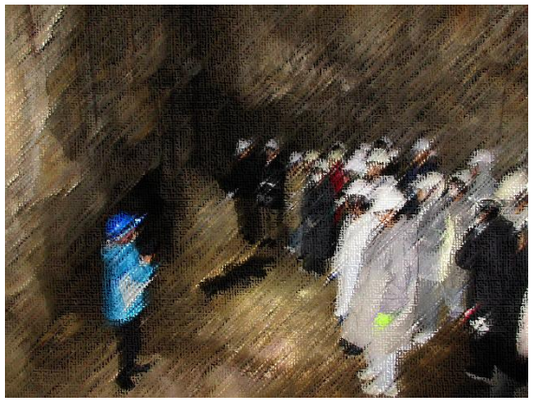
【後半クラス】

「修学旅行で訪れている沖縄には，言葉に出来ないほどの重みがあると思います。第二次世界大戦で起きた沖縄戦では，兵士だけでなく，幼い子供を守ろうとした大人たち，普通の暮らしを送っていた人々も犠牲になりました。亡くなられた方々の無念を思うとき，私たちはこの事実と向き合い，理解し，忘れないように受け継ぐこと，二度と戦争が起きないように願い続けることが大切だと思います。今ある平和を守るために私たちができることは，語り継ぐこと以外にもあると思います。例えば，相手を思いやる気持ちを持つことや，友達とのけんかを避けるように行動するなど，小さなことを積み重ねていくことです。この沖縄の地から，世界中に平和の願いが広がっていくことを今，改めて心から願っています。それでは，沖縄戦で亡くなられた方々へ黙祷を行いたいと思います。黙祷には，亡くなった方々への追悼の気持ちと，戦争によって二度とあのような悲しみを繰り返さないという私たちの決意を込めましょう。これからも，平和が続いていきますように。黙祷。」

沖縄戦当時，多くの人が避難したガマへ…







沖縄戦当時、ガマ（自然洞窟）は住民の避難場所や野戦病院など、様々な用途で活用されていました。沖縄本島には石灰岩でできたガマが数多く存在し、激しい戦況下では、軍人も住民も同じ空間で暮らしていたため、多くの悲劇が起こった場所でもあります。ガマの地面には，当時人々が使っていた茶碗のかけらなどがまだ埋まったままになっていました…。

大雨の中，バスにゆられてガマについた。戦時中の環境下に置かれた人々の暮らしをよく学ぶことができた。そのあと，丘についてアメリカ軍の組織力と強大さを実感することができた。平和祈念資料館では，人と人との争いの残酷さ，人類の過ちをとおして，これからの未来について考えさせられた。（3年 8組）